

野辺地町新総合体育館（仮称）建設事業基本構想（案）・（基本計画（案）） パブリックコメントの結果について

実施期間：平成29年12月1日（金）～10日（日）

閲覧場所：町ホームページ・中央公民館1階ロビー・馬門公民館談話室

コメント提出数：8人／27件

①郵送又は直接持参でのコメント

コメント1 厳しい財政状況、人口減少、少子高齢化の進展や社会情勢の変化等、町の現状を考えればとのことで、下水道工事は廃止されました。

庁舎、体育館等の老朽化や耐震補強等の困難な事などの理由により新体育館の建設には反対しませんが、なぜ現在地や、又町内から離れた場所に建設なのか、国体誘致、災害避難施設にと言われましたが、国体競技などは年に何回行われるのでしょうか、災害時の避難施設としては現在地の方が、かなり適しているとおもいますが。

大きな体育館を建てれば、人の利用人数の多少にかかわらず、維持管理費は、結構掛かると思いますが、その点は大丈夫なんでしょうか。

12月号の広報「のへじ」戸籍の窓の欄を見ても赤ちゃん誕生が3名と、亡くなった方は16名と載っております。この現状を考えていただきまして、どうか、上覧をもう一度読んでいただいて、私達町民に負担の掛からない暮らし、やさしい町づくりをお願いしたい高齢者の一人です。

回答：建設場所については、平成27年度に野辺地町教育振興計画の中に「実施計画に基づいた施設、設備の改修の推進」及び「運動公園を中心としたスポーツエリアの中核施設として、町立体育館の改修計画を検討する」と示しております。

都市公園等事業として運動公園内に建設することで国の「社会資本整備総合交付金」が適用され、より有利な補助金を受けられると共に、施設利用者への影響もありません。しかし、現在地へ建設することになると都市公園等事業の適用外となり、更には現在の体育館を取り壊して建設することになり、利用者にも影響が出ることになります。

現在、運動公園は屋外避難施設に指定されておりますが、新たに体育館が建設されることにより、屋内避難施設を兼ね備えた避難施設として多くの町民が安全に避難できる公園となります。

新総合体育館は、自然エネルギーやLEDなどを活用し、維持管理費の低減に努めて参りたいと考えております。

頂いた御意見を参考に、コスト削減と町民に必要とされる施設となるよう努力して参ります。

コメント2

1 基本構想

(1) 既設町立体育館

構造は、S・RC－2で主にS造が主の建物で三角屋根で耐震補強が可能です。外部の調査機関に委託して調査して下さい。

回答：一級建築士や構造設計一級建築士の方に補強について意見を伺いましたが、町立体育館のようにRC柱の上に鉄骨屋根が乗る構造の建物は東日本大震災時に、柱頭が破損して屋根が落下しかける被害が多く見られました。現在のところ有効な補強工事が難しいとされています。また、積雪荷重が平成17年度に見直され、鉄骨トラスで構成された屋根は一体で構造計算され補強工事も屋根全体におよぶことから現実的ではなく、仮に補強した場合でも、現在の積雪荷重の基準を満たす屋内避難所としては課題を残すことになることから今のところ町立体育館の補強工事は考えておりません。

(2) 競技スポーツ等の取組み

まちづくりの総合計画は理解できますが、当町の将来像及び財政運営の方向性を長期的に見た時、赤字団体になります。したがって財政とスポーツの取組みを考えた場合、現体育館の改修が適切である。

回答：国の交付金や補助金等を活用し、安心して安全な施設の建設を目指したいと考えております。

2 基本計画

(1) 当町の高齢化・人口減少が進展されるなか、新総合体育館の面積は余りにも広い。したがって現体育館の改修又は新総合体育館の面積は3,000㎡程度で良よい。

回答：現在の町立体育館や青少年体育センター、小学校体育館を集約した総合体育館として、複数の競技団体や冬期間に屋外スポーツ団体等が同時に利用できる施設として考えております。

(2) 施設の維持管理等について

今回の基本計画にないが、新総合体育館は、5,400㎡で、年間2,000万円以上の維持管理がかかる。もし民間委託した時、多額の予算確保が必要であるので基本計画を見直して下さい。

回答：新総合体育館の運営方法については、今後、検討することになりますが、基本設計・実施設計において自然エネルギーやLEDなどを活用し、維持管理費の低減に努めて参りたいと思います。

3 建設検討委員会

名簿を見るとスポーツ等に関係の委員ばかりで関係のない町民が含まれていない。これは町全体から見た場合、委嘱のあり方が「ゆがんで」いる。

したがって、公募して再度建設検討委員会を設けて下さい。

回答：建設検討委員は、設置要綱に基づき、教育委員会で委嘱しました。

委員の選任については、1)学識経験者 2)各スポーツ活動団体を代表する者 3)体育施設を利用している団体の者 4)その他前号に掲げるもののほか、教育長が適当と認めた者の中から今回の検討委員を選出・承諾を得て委嘱しております。このとおり、この委員になられた方々は町民としての責任を持って、この基本構想・基本計画(案)策定に御尽力されていることは御理解願います。

さらに、一般公募は、これまで法定等の定めによらないもので、特に委員を委

嘱する期間が短期間となる検討委員会等を立ち上げる際は、委員の公募を行っておりません。今回も同じ扱いをしたものであります。さらに、公募のデメリットとして、利害関係者が委員にある恐れがあるため公平に選出しております。

よって、教育委員会においては、再度「検討委員会」の立ち上げは考えておりません。

4 その他

建設においては、町民との直接対話を設けて下さい。

回答：今後、基本構想・基本計画（案）を町に答申いたします。その後、基本構想・基本計画（案）に基づき基本設計が策定されることとなりますので、町民の皆様にも広くお知らせしていきたいと考えております。

コメント3

1. 新しい体育館建設の必要性はよくわかりました。
建設は前向きに進めてよいと思う。

回答：必要性への、御理解ありがとうございます。

2. 建設費用については、交付金が半分あるとのことで、それはよいと思うが、残りの半分は、町財政からの支出と「過疎債」との事なので、町財政の厳しい中、大丈夫なのか心配である。綿密な計画のもと慎重にやってほしい。

回答：頂いた御意見につきましては、今後事業計画の参考とさせていただきます。

3. 建設予定地が、町の中心から遠いので、練習や、利用のため親の送り迎えや、車利用が増える（負担）と予想される。負担を少なくするための、町のバスや、タクシー会社との契約によるバスなど、色々考えるべきと思う。

回答：運動公園内であれば、国の「社会資本整備総合交付金」が適用されるため、建設場所が遠くなりますが、今後、学校の部活動やスポーツ少年団等と交通の面も協議が必要かと思えます。実情を調査し、施設の使いやすさとスクールバスや町所有バスの検討も含め、交通弱者にも優しい計画を検討して参りたいと思えます。

4. H37の「青森国体ハンドボール競技」を誘致しているとの事だが、コートなど広さは充分なのか。また選手を受け入れる宿泊施設も、町内の旅館・ホテルは年々減っているが足りるのか。柴崎牧場にある森林センターも活用できるのではないのか。また、近隣町村の宿泊施設（東北町や六ヶ所村）も借用する方法も考えたかどうか。

回答：検討委員会の中でも検討され、この基本構想・基本計画（案）に示されているとおりコートの広さは十分であります。

町内の宿泊施設については、当町の宿泊可能者数は、約800名を収容できます。

国体の場合は、選手が約450名・役員が約200名を予定しており、町内の宿泊で賄いきれない場合は、近隣町村へも考えなければなりません。

宿泊は、まず町内の宿泊施設を中心に活用しようと考えております。

5. 運動イベントを増やすために効果があると思うが「柴崎岳」選手のコーナーを設けてはどうか。（駅前の観光PRセンター展示のようなもの）

回答：今後、柴崎岳選手の後援会とも協議し、「柴崎岳選手」のコーナーを検討していきます。

②FAXでのコメント

コメント1

1. 現在の場所へ希望します。

回答：第2期野辺地町教育振興計画の中に積極的に取り組む施策として、「運動公園を中心としたスポーツエリアの中核施設として、体育館の改修計画について検討する」こととしています。町総合計画策定時に実施したアンケートにおいても、「スポーツ施設が点在している」不便さも指摘されており、総合的なスポーツエリアとして計画されております。

また、国の「社会資本整備総合交付金」が適用できることから、運動公園内に建設する予定です。

2. 1) 運動公園の場所は秋に熊も出没し、人通りも少ない道を部活帰りの子供達の安全が心配です。

回答：現在、中学生・高校生・一般と運動公園を利用しており、当課においても施設の修繕含め、利用者が安心して安全に利用できるよう努めて参ります。

2) 交通の便からしても駅から徒歩でも行ける。町外からの来客には便利と思います。

回答：建設計画場所の運動公園は、現在の町立体育館よりは遠くなりますが、東北・全国規模の大会時は、今後バス輸送などを検討していきます。

なお、他市町村で行われている現行の大会等では、各チームが各自で輸送を行っているのが大半で、応援者については、個々の自家用車で来館している現状であります。当町でそのような全国規模等の大会が開催される場合は、町所有バス等の活用も考えられます。

3) そして一番大事なのが、今の時代、災害・ミサイル落下と避難所の利用が予測されるのではないのでしょうか。公民館だけでは収容人数は限られ耐久性にしても体育館に期待しています。

回答：基本計画（案）の中の施設整備の基本的な考え方として「屋内避難場所としての耐震安全性を確保し、災害時にも安全な仕様を選定し計画する。」とあります。この基本的な考え方に沿って計画を進めて参ります。

コメント2

野辺地町新総合体育館（仮称）建設基本構想・基本計画（案）について私としては、この構想・計画について、反対である。

以下に反対理由を列記する。

①この総工事費 20 数億の財源はどのように調達するかが、はなはだ疑わしい。

回答：調査・設計、工事および工事監理につきましては、「社会資本整備総合交付金」最大2分の1の国庫補助金を予定しております。残りの事業費につきましては、「過疎対策事業債」の借入れが可能で、借入金返済済額に対して70%の地方交付税措置が受けられます。また、大型備品につきましては、「スポーツ振興くじ助成金」を予定しております。

②役場庁舎建設と同時期、また、相前後の工事にかかる建設費をどのようにまかなっていくのか町民としては心配だ。

回答：工事費につきましては、今後「基本設計」「実施設計」が行われれば詳細な

工事等が積算されます。今回の「概算工事費」は、工事面積に1㎡の工事単価を概算で算出したものであります。

③今後、巷間伝えられている、小学校の統合、野辺地病院の新設などを考えると町民の税金では、賄いきれなくなり野辺地町が財政破たんしかねない恐れがある。

回答：頂いた御意見につきましては、今後事業計画の参考とさせていただきます。

④今後、ますます少子高齢化が進む中での新総合体育館は必要はない。

現状の施設の耐震工事等を施すことで対応できる。

回答：少子高齢化が進んで、町の人口も5年後で12,700人、更に5年後には11,800人とされています。

現在の体育（スポーツ）施設においても、一般の町民の皆様の利用が制限されている状況であり、将来的には、人口減更には高齢者の増加が見込まれております。教育委員会においても、体育（スポーツ）施設は、競技スポーツを志す選手や生涯スポーツを楽しむ場所、更には、健康増進のために体を動かす方々が増加する中で、老朽化した施設が多い中で、町民の皆様の要望には添えない状況があります。

耐震工事等については、①『郵送又は直接持参でのコメント』の中の、コメント2の（1）のとおりとなります。

老朽化している町立体育館、青少年体育センター、学校講堂を合わせた施設となるため、面積は広がります。

現在も数多くの高齢者が健康維持のためにスポーツを行っています。これからは、今以上に文化・スポーツで高齢者の方が活動できる施設が必要と思われるます。

⑤なによりも、箱ものを作ってこれからの子供・孫たちの世代に多額の借金を残すのだけはやめてほしい。

回答：現在、体育（スポーツ）施設は、町立体育館を含め、30年から40年を超え、雨漏りや電気系統の不具合等の老朽化が著しく、安全性が危惧されております。

教育委員会としては、今後、老朽化した施設を集合させた施設が必要であり、競技スポーツ・生涯スポーツ更には町民の皆様の健康づくりの拠点として必要な施設として考えております。

そこで、建設にあたっては、補助金等を最大限に活用し、事業費の削減に努めて参りたいと考えております。

将来を担う、子供達のためや生きがいを感じて健康増進を図る町民のためにも必要な施設と考えております。

③メールでのコメント

コメント1

体育館の中に多目的ホールを作るという意見がありますが、そこに鏡をつけてほしいです。町内ではヒップホップダンスやクラシックバレエや3B体操等、習い事で踊る方や、発表会等参加する機会があり、大人数で踊る場所がなく、公民館では鏡がありません。

せっかく新しくするなら、今は壁に貼り付けるタイプもあり安くつけられると思いますのでご検討くださいませ。

回答：基本計画（案）の施設整備計画の中で、会議室兼多目的スペースとして、「ダンスやエアロビクスなどで利用できるよう壁の一面は鏡張りを検討します。」となっておりますので、これに基づき計画して参ります。

コメント2

1. 基本理念（3）について

○上北郡中体連種目の誘致をお願いします。

現在は体操競技が実施されていますが、野辺地中学校だけの参加です。他に市町村に負けていない体育館が建設されようとしているのに、同じ事をしているようでは町民に笑われます。

回答：上北郡中体連事務局が競技会場等を決定しているため、今後、調査し誘致活動に努めていきたいと考えております。

○中学校陸上競技について

冬期間（冬休み）にむつ市で県合宿、十和田市では上北郡大会が実施されています。2市は陸上熱が高く、郡大会や県大会では優秀な成績を収め、秋に行われる、県中駅伝大会で優勝もしています。野中も以前は男子5回、女子8回全国大会に出場していますが、（小学生のクロスカントリーが盛んな頃の）今後は男女共優勝どころか入賞も出来ないと思われます。委員の中に陸上競技に精通している方おりますか？

回答：陸上競技の強化については、町の陸上団体の協力を得て強化している状況であり、選手強化は、中学校及び競技団体（少年団含む）め、協議を進めて参りたいと考えております。新総合体育館では、構想内にあるように、冬期間でも室内でのランニングコースも設置される予定となっていることから、今後の強化につながるものと思われます。

建設検討委員には、陸上競技に精通している方はおりません。

○プロスポーツ大会の招致

バスケットボールB2リーグの青森ワッツの試合を津軽と南部での間で実施できれば町外から多数の方々が新体育館に足を運ぶと思います。

回答：新総合体育館ができれば、プロバスケット等の招致も可能になります。

2. 基本計画（2）1）について

○ボクシング・相撲は想定競技から外すのが妥当と思います。今まで町立体育館で実施した事はありません。

回答：基本計画（2）1）については、アリーナ面積（2,400 m²）を想定競技で表したものでありますが、ボクシング・相撲についても開催可能ということで御

理解願います。

コメント3

基本計画（案）P 1 8. 2. 施設整備計画

（2）施設整備計画（仕様等）

②会議室兼多目的スペースについて

この内容については、ぜひ実現していただきたい。どこの市町村でも、新しい施設には、この様な多目的スペースが用意されており、利用者には快適かつ魅力的なスペースです。特に壁に鏡を張り付けた部屋は、野辺地町には現在無いので実現できるなら、とても良いと思う。

回答：基本計画（案）に基づき、実現できるよう計画して参ります。